

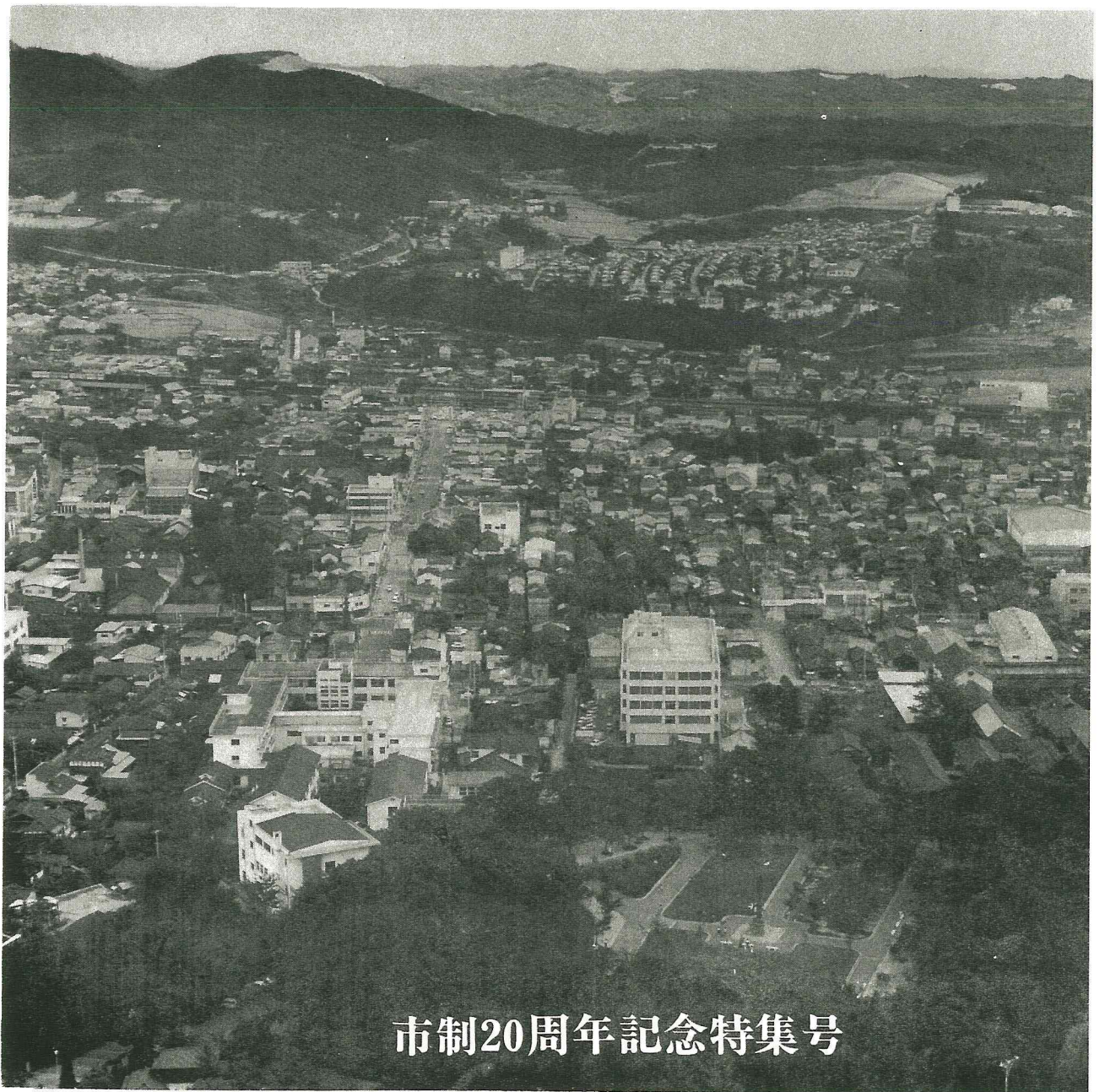
# 広報 しほり

特集号

11

48年

編集と発行白石市役所総務課・宮城県白石市字桜小路35Tel(5)2111-989-02昭和35年11月7日第三種郵便物認可1部2円



市制20周年記念特集号



## 白石市民歌

松野清四郎作詞  
海鋒 義美作曲

一、友よ 呼べよ 青空高く  
真白き 蔵王に わく雲を  
いのち あふる、わが故郷  
躍る この意気 こだまして  
希望の峰に わく雲を  
いざ立たん 白石市民  
白石市民 あ、我ら

二、友よ 呼べよ みどりの土に  
薫りも 新たに 咲く花を  
ひかり みなぎる わが故郷  
興る 文化と 産業の  
栄えとなりて 咲く花を  
いざ行かん 白石市民  
白石市民 あ、我ら



白石市は昭和二十九年四月に市制を施行し市紋章を制定するため広く一般から公募しました。丸輪の黒つり鐘の中に白の字を入れた。

この黒つり鐘は仙台城主伊達家の家臣白石城主藩祖片倉公の軍旗を表わし、その武名を天下に鳴りひびかせよとの意味をもっています。

外円は合併時の町村がまるくおさまり、白円は白石市の白を表わし、車の両輪のように限らない前途をつづけ、白石市の名を広くひびき亘らせようとの意を象徴したものであります。



合併調印式

# 市制20周年



市 議 会 議 長  
黒 沢 登

わが白石市は、慶長7年片倉小十郎景綱公が白石城主として白石町に入られて産業の開発をはかり以来、行政の幾多の変革を経ながら、その中で白石の和紙、紙布織また全国にその名声を博している白石温麺、そしてまた白石こけしの生産も年とともに繁栄し、昭和29年4月、1町と6ヶ村の合併により白石市制を施行し、続いて昭和32年3月には小原村の第2次合併により東西18.5キロメートル南北19.75キロメートルからなる面積285.94平方メートルのまさに雄大な現在に至る白石市が誕生したのでありますが、白石市の現在はこれに加えて東北新幹線建設工事完成に伴う新白石駅の誕生を見ると共に又白石、仙台間の部分が間近かに開通の迫った東北縦貫自動車道、さらには白石バイパス建設、加えて七ヶ宿ダム建設と地域開発は猛スピードで着実に進められております。

このような情勢下で白石市制20周年を迎えたことは誠に喜ばしく意義深いものがあります。

白石市はこうした開発の大動脈を基盤にした白石市の基本構想にもとづき町づくり構想に現在真剣に取りくんでおります。

わたくしたちは、今後白石市全市民の力を結集して、飛躍的な市勢発展と市民福祉の増進に微力を尽してまいりたい所存であることを申し上げ、市制施行20周年にあたりごあいさつといたします。

# を迎えて

昭和29年4月、生活圏を同じくする町村がひとつとなって、白石市が誕生してからここに20年を迎えることになりました。

この20年間我が白石市は、県南地方中核都市として、たゆまざる発展をとげて参りました。

・私は、この間教育施設の整備拡充、道路橋梁の改良舗装、生活環境ならびに社会福祉施設の整備や東北本線複線電化、相馬白石南陽線の国道昇格改良事業、それに行政サービスの殿堂としての市庁舎の建設、東北縦貫自動車道インターチェンジ、東北新幹線新白石駅の実現など、市発展に必要な諸施策、諸事業の実現に情熱をもってあたつて参りました結果、着実にその成果を見ておりますことは、市民各位とともにご同慶に堪えないところであります。

今や東北縦貫自動車道、東北新幹線の建設等の交通網の整備により、主要都市との時間的短縮による交流範囲の拡大により、観光都市として、又工場等の進出により産業経済面においても飛躍的發展が期待されるものと存じます。

今後はさらに総合計画を主標として、都市基盤の整備下水道の建設等生活環境の整備を推し進め、市民の皆さんが健康で豊かな生活ができる都市づくりに、全力を傾注する所存でございますので、一層のご協力ご支援をお願い申し上げます。



市 長  
麻 生 寛 道

# 市制20周年を



県議会議長

木村喜代助

白石市の市制施行20周年をお祝い申し上げますとともに、市民のみなさまに心からのごあいさつを送ります。

よりよい生活環境の整備と産業経済の振興を軸として、市勢の着実な発展のうちに白石市が市制20周年を迎えたことは、まことにご同慶にたえません。

最近はまだ、東北縦貫自動車道の部分開通と白石インターチェンジの完成、東北新幹線の白石停車の決定など、白石市のあすを開く基盤整備の進展によって、白石市が名実ともに仙南地方の中心都市として大きな発展をとげることが期待されています。

市制施行以来、よりよいふるさとづくりに取り組み、たゆみない努力を続けてこられた市民各位ならびに市ご当局に対し、この機会に深く敬意を表しますとともに、記念すべき市制20周年を契機として、白石市が新たな躍進の道を進まれるよう心から祈念いたしまして簡単ながらお祝いのことばといたします。

# 記念して

昭和29年、白石町ほか7村が合併して市制を施行されて以来、発展の一途をたどり20年の歩みを記念することになりましたことは誠に喜ばしく、心強い限りです。

今や、過密と公害から生活環境を破壊され生活の場としての機能を失い、新しい都市づくりが叫ばれている中であって、藩政時代からの歴史をもち、伝統にはぐくまれてきた白石市は、産業と生活環境がみごとに調和し、生きがいのある、人々が心のかよい合った生活を享受できる理想の都市でありましょう。

白石市の未来像は、いわば本県の未来像であります。東北新幹線、高速自動車道の開通により新しい夜明けを迎え、たくましく伸びゆく豊かなまち、誇り高い市民文化のかおるまちとしてまた仙南広域行政圏の中核としてより一層躍進されることを願ってやみません。



県知事

山本壮一郎

# 市制20周年を記念して

昭和29年4月、白石市が誕生してから、20年を迎えました。

「この間に、私達の白石市は“新しいふるさとづくり”にとりくみ、仙南地方の中心都市として文化、産業、交通の各分野において、めざましい発展をとげてまいりました。

20才を迎えた白石市は、はつらつとした成年都市の様相を備えつつあります。

特に、東北新幹線新白石駅の決定、東北縦貫自動車道、白石インターチェンジの完成とあいまって、その一部が開通し、着々発展的要素を備え、理想白石市の姿が出てまいりましたことは、慶賀に堪えません。

この記念すべき年にあたり、市民の皆様とともに躍進を祈念して、お祝いの詞といたします。



県 会 議 員  
遠 藤 要



市制施行パレード  
(「明治100年白石風物誌」より)

## 市制二十年のあゆみ

- |                                   |         |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |                 |
|-----------------------------------|---------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 4<br>5                            | 4<br>1  | 3<br>31         | 3<br>22         | 3<br>22         | 3<br>4          | 12<br>20        | 8<br>31         | 5<br>30         | 4<br>23         | 4<br>12         | 3<br>31         | 3<br>31         | 3<br>27         | 2<br>27         | 11<br>1         | 8<br>13         | 5<br>12         | 4<br>14         | 4<br>1          | 4<br>1          |
| 昭和二十九年                            | 昭和二十九年  | 昭和二十九年          | 昭和二十九年          | 昭和二十九年          | 昭和二十九年          | 昭和二十九年          | 昭和二十九年          | 昭和二十九年          | 昭和二十九年          | 昭和二十九年          | 昭和二十九年          | 昭和二十九年          | 昭和二十九年          | 昭和二十九年          | 昭和二十九年          | 昭和二十九年          | 昭和二十九年          | 昭和二十九年          | 昭和二十九年          | 昭和二十九年          |
| 白石市制施行(白石町・越河・齊川・大平・大鷹沢・白川・福岡村合併) | 白石市水道開始 | 初代市議会議員選挙(市制最初) | 初代市議会議員選挙(市制最初) | 初代市議会議員選挙(市制最初) | 初代市議会議員選挙(市制最初) | 初代市議会議員選挙(市制最初) | 初代市議会議員選挙(市制最初) | 初代市議会議員選挙(市制最初) | 初代市議会議員選挙(市制最初) | 初代市議会議員選挙(市制最初) | 初代市議会議員選挙(市制最初) | 初代市議会議員選挙(市制最初) | 初代市議会議員選挙(市制最初) | 初代市議会議員選挙(市制最初) | 初代市議会議員選挙(市制最初) | 初代市議会議員選挙(市制最初) | 初代市議会議員選挙(市制最初) | 初代市議会議員選挙(市制最初) | 初代市議会議員選挙(市制最初) | 初代市議会議員選挙(市制最初) |

- 7・27 福岡小不忘分校校舎建設
- 7・29 高橋進太郎氏国務大臣就任祝賀会
- 8・1 白石市民レクリエーション大会開催(以後毎年実施)
- 8・2 市営屠畜場建設(日豚二十頭処理)
- 8・5 白石警察署庁舎落成
- 8・10 小原小久保分校校舎建設
- 10・8 白石第二小学校に赤痢発生二八八名罹患
- 11・20 衆議院議員選挙
- 2・26 白石北簡易郵便局開局
- 3・31 東北本線電化工事完成
- 7・7 市営火葬場建設(鷹ノ巣地内)
- 7・27 小児麻痺流行第一回生ワクチン投与
- 9・17 白石第二小学校屋内運動場建設
- 9・28 白石女子高等学校創立五十周年記念式典挙行
- 11・6 こけし塔白石沖に建立除幕式
- 12・20 東白石駅開駅式
- 2・14 白石市交通安全都市宣言
- 3・19 刈田病院創立八十周年記念式挙行
- 3・28 蔵王有料道路「蔵王エコーライン」と命名する
- 4・1 白石工業高等学校開校
- 4・3 杉浦製作所操業開始
- 4・18 市長選挙 三代麻生寛道就任
- 7・1 参議院議員選挙
- 7・14 集中豪雨(一八五ミリ)被害多大
- 8・1 東北急行バス運行開始
- 8・10 深谷小学校プール建設
- 10・4 齊川小学校屋内運動場建設
- 10・27 南中学校校舎建設

昭和三十七年



こけし年賀切手贈呈式



上水道配水管工事

- 11・10 白石農協に白川農協合併
- 2・4 県知事選挙 三浦義男就任
- 2・25 暴風(風速四十米)の被害甚大
- 3・10 小原温泉火災
- 3・30 白石市制十周年記念式典挙行
- 4・17 県議会議員選挙
- 4・30 市議会議員選挙
- 5・1 白石市公会堂解体始まる
- 5・20 四代市議会議長庄司猛太郎就任
- 5・20 四代市議会副議長保科善久就任
- 7・3 小原慈母観音の開眼式
- 7・18 白石簡易保険郵便年金加入者ホーム(不忘荘)開所
- 8・8 蔵王連峰が国定公園に指定される(全国第二十二番)
- 9・10 白石川葉師橋完成
- 10・10 白石市体育協会十周年記念式典挙行
- 11・18 学制発布九十周年記念式典挙行
- 11・21 衆議院議員選挙
- 11・30 白石第二小学校保健体育優良校として全国表彰
- 1・13 昭和三十九年 振興相互銀行白石支店新店舗新築営業開始
- 2・4 市営授産所火災
- 3・4 白石市し尿処理場建設
- 3・31 白石市が低開発地域工業開発促進に指定
- 4・20 七十七銀行白石支店新築、新店舗で営業開始
- 4・30 白石市民体育館建設
- 5・19 東北電子工業株式会社操業開始
- 6・1 白石の観光と物産展(以後毎年開始)

昭和三十九年

- 6・1 白石市が地方財政再建促進特別法の適用を受ける。
- 7・8 参議院議員選挙
- 8・21 白石第二小学校第三・四校舎建設
- 9・20 県知事選挙 大沼康就任
- 9・25 温麺創製三五〇年祭挙行
- 9・30 強震、材木岩の崩れ甚しく、市内田町地区被害甚大
- 10・6 白石幼稚園移転完成(現在地に)
- 10・19 白石第一小学校に赤痢発生二六二名罹患(船岡公園遠足井戸水原因)
- 10・31 白石中学校校舎(火災復旧)建設
- 1・25 中町、長町に歩道完成
- 3・31 白石市に小原村合併
- 3・31 刈田病院本館工事完成
- 4・1 白石中学校に大平中学校を合併
- 4・1 南中学校創立(越河・齊川中学校合併)
- 7・25 福岡小八宮分校校舎建設
- 7・31 蔵王開拓地が集約酪農地帯に指定
- 10・1 小原小学校が学校植林コンクール全国第一位入賞
- 10・22 市内小中学校体育祭開催(毎年実施)
- 11・22 白石電報電話局舎新築落成
- 2・14 市議会議員補欠選挙
- 3・31 白石第二小学校第四校舎建設
- 4・1 水道量水器取付、全戸メーター制に
- 4・29 市長選挙 二代麻生寛道就任
- 4・29 小原ハイキングコース開通
- 5・22 衆議院議員選挙
- 6・10 上水道落成記念式典挙行
- 7・1 表・南蔵王にバス開通

昭和三十三年



秩父宮殿下御来白



昭和28年度全国高校野球選手権大会入場式

- 11・10 特急はつかり運転営業開始
- 11・30 白石第二小学校管理棟建設
- 10・30 市内小学校に学校給食用脱脂粉乳給食実施する
- 2・16 刈田病院内に、白石第二小学校・白石中学校「ベットスクール」開校
- 3・1 県知事選挙
- 3・1 市議会議員選挙
- 3・7 三代市議会議長太宰虎太郎就任
- 4・7 三代市議会副議長阿部輝尾就任
- 4・16 第一回全日本こけしコンクール(以後毎年開催)
- 4・23 県議会議員選挙
- 6・2 参議院議員選挙
- 6・5 白石駅舎新築落成
- 7・3 白石市奨学資金制度発足
- 7・3 白石市養老年金制度発足
- 7・15 国鉄大森山無線中継所完成
- 7・26 南中学校屋内運動場建設
- 7・27 齊川地区簡易水道完成
- 8・10 白石郵便局新庁舎落成
- 9・10 福岡小長峰分校校舎建設
- 9・15 白石市で八十才以上の老人に敬老年金支給する
- 10・22 東北電力白石営業所新築落成
- 11・1 国民年金(無拠出)支給開始
- 12・14 白石女子高等学校屋体兼講堂落成
- 2・21 福岡蔵本に赤痢発生(真症三十名・保菌者九十八名)
- 6・24 白石農協に小原農協合併
- 7・26 ユースホステル長老沼に完成

昭和三十五年

6・20 高橋縫装工業(株)新工場建設  
 7・1 小原小西分校舎建設  
 7・17 小原小学校屋内運動場建設  
 9・1 患者輸送車購入、へき地患者輸送にあたる  
 9・28 東京オリンピック聖火リレー白石通過

昭和四十年

3・24 ひかり幼稚園開園  
 3・28 県知事選挙  
 3・31 北保育園建設  
 3・31 農業構造改善事業実施  
 7・4 参議院議員選挙  
 10・24 鷹巣古墳群発掘調査実施

昭和四十一年

4・1 白石職業訓練所設置  
 4・14 市長選挙 四代麻生寛道就任  
 5・12 白川中学校舎建設  
 7・1 農林年金白石温泉保養所完成  
 10・3 五代市議会議長飯沼吉右工門就任

昭和四十二年

1・29 衆議院議員選挙  
 3・8 深谷小学校舎建設  
 3・14 東北電子工業白石工場全焼  
 3・25 大平小学校屋内運動場建設  
 4・15 県議会議員選挙  
 4・28 市議会議員選挙  
 5・16 六代市議会議長阿部輝尾就任  
 5・16 五代市議会議長斎藤一就任  
 5・30 東北電子工業(株)白石工場完成  
 5・31 南保育園(円形)建設  
 7・21 白石女子高等学校プール建設  
 9・11 南中学校プール建設

11・3 市制施行十五周年記念式典挙行  
 12・27 衆議院議員選挙

昭和四十五年

3・16 ソニー白石セミコンダクタ操業開始  
 3・25 市議会議員補欠選挙  
 3・25 市営授産所建設  
 3・31 白石第一小学校舎建設  
 3・31 小久保平・大網地区開拓パイロット事業実施  
 4・25 市長選挙五代麻生寛道就任  
 5・31 アメリカシロヒトリ市街地に発生  
 6・18 アツギナイロン白石工場竣工  
 7・16 越河小学校プール建設  
 7・16 齊川小学校プール建設

昭和四十六年

1・16 白石市文化協会結成  
 3・10 白石市史第一回配本(第四巻)  
 3・19 白石市勤労青少年ホーム建設  
 3・31 白石中学校屋内運動場建設  
 4・1 仙南地域行政事務組合設立(ファイルムライブラリー)  
 4・11 県議会議員選挙  
 4・25 市議会議員選挙  
 5・17 八代議長山田活吉就任  
 5・17 六代副議長斎藤一就任  
 6・11 越河保育園建設  
 6・27 参議院議員選挙  
 7・18 小原中学校プール建設  
 7・22 白石市児童館建設  
 7・31 堂田遺跡発掘調査  
 9・30 白石中学校屋内運動場建設  
 10・14 東北新幹線ルート及び新白石駅工事実施認可  
 蔵王トンネル 一一、二〇〇米



初めて白石駅に特急が停車



東北新幹線新白石駅設置決定



明治百年記念式典



上) 以前の公民館  
 下) 以前の公立刈田病院

上) 旧市庁舎  
 下) 公会堂

9・11 七代市議会議長保科善久就任  
 10・6 福岡小不忘分校全国へき地教育公開研究会開催  
 12・6 東北縦貫自動車道杭打式

昭和四十三年

3・31 白石第一小学校舎建設  
 5・17 白石女子高等学校舎建設  
 5・31 上水道第二水源ポンプ増設工事施行  
 6・30 深谷小三住分校舎建設  
 7・7 白石駅前観光案内所建設  
 7・15 参議院議員選挙  
 7・15 福岡小学校プール建設  
 10・10 鷹巣古墳群発掘調査  
 10・23 明治百年記念第四十回市民体育大会開催  
 10・23 明治百年記念白石市式典挙行  
 11・23 札幌市白石中学校と白石中学校と姉妹校の調印式  
 11・23 白石高等学校開校七十周年記念式典挙行  
 12・9 榎本製作所(株)白石工場建設

昭和四十四年

1・31 相馬市から白石市を経て南陽市に至る国道百十三号線昇格祝賀会  
 3・23 県知事選挙山本壯一郎就任  
 3・23 県議会議員選挙  
 4・1 行政区長制度実施  
 4・7 東保育園建設  
 4・18 白川中学校屋内運動場建設  
 4・30 白石第一小学校舎建設  
 5・30 白石駅前広場整備完了  
 7・31 大平小学校プール建設  
 10・31 西保育園建設  
 10・31 鷹巣古墳群発掘調査

白石第一トンネル 三九〇米  
 白石第二トンネル 三、八二〇米  
 白石第三トンネル 六九五米  
 白石市トンネル総延長 一一、四二五米  
 白石市アカリ部分 五、〇九五米  
 白石市通過距離 一六、五二〇米  
 10・25 東北新幹線新白石駅決定祝賀会  
 12・3 郡山横穴古墳群調査

昭和四十七年

2・19 東北縦貫自動車道起工式  
 3・31 白石第一小学校屋内運動場建設  
 3・31 白川小学校舎建設  
 4・1 仙南地域広域行政事務組合へ移管(衛生センター・消防・屠畜場)  
 5・31 小原・白石・福岡森林組合合併  
 7・15 白川中学校プール建設  
 8・5 市営火葬場(鷹巣石倉地内)建設  
 10・10 衆議院議員選挙

昭和四十八年

1・31 白川小学校舎建設  
 2・12 蔵王自然保護協会設立総会  
 2・25 福岡小蔵王分校舎建設  
 3・4 県知事選挙 山本壯一郎就任  
 3・22 九代議長黒沢登就任  
 3・25 大鷹沢公民館建設  
 4・1 市役所新庁舎で執務開始  
 4・1 青少年の家設置(小原小久保平地内)  
 7・1 白石市図書館建築事業着手  
 7・20 大平公民館建築事業着手  
 7・22 白石中学校プール建設  
 7・25 越河小学校建築事業着手  
 7・25 市文化財史跡指定(片倉廟所・堂田遺跡・横穴古墳群・世良修蔵の墓)

# 市民が見た

## わがまち 白石

### 過去・未来について大いに語る

#### 開会にあたって

本日は、お忙がしいところご  
参集いただき、誠にありがとうございました。  
ごさいます。

白石市は、今年で市制二十周  
年を迎えることになりましたが、  
この意義ある年に、白石市が誕  
生してから今日までの、行政、  
文化、交通又は経済等において、  
今までの変遷について、日頃見、  
聞きされている皆様方に感想な  
り、ご意見をお聞かせいただき、  
今後の市政の参考にいたして参  
りたいと思います。

又この機会に広報しろいしを  
通じて、市民の皆様幅広く紹介  
しようということで、今回座談  
会を催した次第です。

どうか、きたんのない活発な  
ご意見を、ちようだいしたいと  
存じます。

よろしくお願いたします。

(齊藤総務課長)

司会 本日はお集りの皆様は  
それぞれ各分野でご活躍なさ  
っておる方々ですが、それぞ  
れの分野にかかわらず、オー  
プンに、白石市全体について  
お話を伺いたいと思います。

#### 出席者

(五十音字順)

- 白石第一小学校長 伊藤 千代記氏
- 河北新報白石支局長 及川 秀哉氏
- 白石女子高等学校長 風間 観静氏
- 白石商工会議所 後藤 正太郎氏
- 工業部副会長 佐々木 卓郎氏
- 七十七銀行白石支店長 銭谷 周次郎氏
- 白石商工会議所会頭 三沢 賢吾氏
- 白石農業協同組合 齊藤 皆五郎氏
- 専務理事

#### 司 会

白石市役所総務課長 齊藤 皆五郎

A 十年ぶりの来客があり、  
その客が夜行列車で白石に着き  
駅におりたところ、駅前には広々  
としてネオンやアーケードが出  
来て、明るく美しい町なので、  
他の町と間違っ下車したのか  
と驚きましたと話しております。  
白石の変貌ぶりにビックリ  
しております。

B 急激な変化は感じませ  
んが、市街地の変わり方は目に見え  
ますね。昔魚取りをした所が、  
住宅街になったり……

C 白石は少しも変わらないと  
思います。特に国道筋大橋から  
田町までは全然変わらないよう  
です。町の中を国道が通っている  
所は、白石ぐらいでしょう。車

で通過する人は、白石とはどん  
な町なのかと思っております。  
汽車で通る人は、駅前の明るい  
照明で、ああ美しい、静かな町  
と感じているようですね。

あと変らないというのは、店  
の旦那さん達で、十数年前の財  
布持ちが、そのまま今も財布持  
ちの様ですが……(一同笑)  
二十年前世代が変らなかつた様  
に思われます。

A 住民意識が、変っていない  
ということですね。

D 二十年前に、どんな事があ  
ったか調べたらやはり随分変  
っております。

◎二十五年市制施行大綱が町議  
会に諮問

◎二十六年市制施行の町議会準  
備委員会結成

◎二十七年白石商工会議所発足

◎二十八年白高が甲子園初出場

◎二十九年第一小学校火災。と  
白石市発展の転換の時代でした。

A 二十年前の白石経済も大  
変な変わり方で、旧家といわれる  
店舗が没落し、新興商店が生れ  
たのも、この頃です。

E 工業関係の経営者は二十  
年前と比較して、現在は三分の  
二ぐらい変わりましたね。企業そ  
のものも変わりましたが、  
白石の代表的な産業である。

こけしも、受難の時代を経て  
今日のように普及してきました。  
市においては、特に力を注ぎ  
「全国こけしコンクール」を開  
催するなどして、日の目を見、  
現在のブームをひきおこしまし  
た。「こけしのふるさと白石」  
になるとは誰しも二十年前に予  
期していなかつたでしょう。

A こけしのふるさと白石を  
築きあげ、全国こけしコンク  
ールを開いた麻生市政の偉大な  
功績と思います。

F 学校教育施設でも、へき  
地校、蔵王、三住なども鉄筋コ  
ンクリート建になり、当時とは  
見違える程大分変わりましたね。  
当時水泳は、白石川や溜池で  
やっておりましたが、今では各  
学校に立派なプールが出来まし  
た。

B 市自体の中での変化はな  
いでしょうか。

E 寿山に一つの立派な街が  
出来るとは、当時想像出来ませ  
んでした。

D 昭和二十九年四月上水道  
給水が始まりまして、水道の力  
によって、寿山団地造成、工業  
高校の誘致、駅前周辺の開発が  
進んだのでしょね。

B 水の都白石に上水道を設  
置しても、誰も金をかけて水を







働力を吸収するだけで、市の発展にどれだけプラスになっておるか分かりません。既存の工場からの労働力が流出する事もあり問題です。

今後は、男子型の工場誘致に力を入れていただきたい。

又、商店についてはエンドー大型スーパーの進出について、

より以上商店は魅力ある商店にイメージチェンジを図る必要があります。

G 駅前や繁華街で各商店が協力しあつて立派なアーケードを作りましたが、それだけで終つておるようです。

例えば、古川のように、各商店が協力してつくった〇〇プラ

E 新しい工場が入つて来てますが、一向に人口が増えていない。即ち、工場は増えても労働力は増えていないと言ふことです。如何に労働力を確保する

司会 販売を伸ばすには、人口の増加が必要です。それには、工場誘致が必要と思われませんが。

ザのような、デパート形式のを作るのも一つの方法だと思います。又、消費者のサイドから言うと、白石の商店は、買はずらい。汽車賃を出しても、他から買った方が気持(接客態度)がいいし、安いとよく耳にしますね。

B 小売店の販売対策、店員の接客態度が悪いと、安くとも買う気がしませんね。

C 白石の商店は、裕福なのでしょね。

商売してもしくとも良いと言ふ且那樣商法なのでしょうが。大型スーパー進出によって刺激を受けて、商店も、店員もよくなると思ひますね。

司会 田園都市白石の農林業はどの様な方向に進むべきでしょうか

かが課題です。

市や商工会議所では、工場誘致と同時に、労働力を市外から確保すると言ふ血の通つた施策を講じることによって、市の発展のためにもなると思ひます。

B 今や農業は、産業の立場を失つた斜陽産業と言われております。

専業農家は、二十年前二十五%おつたものが今日では十%にも満たなくなつております。

兼業収入で生活を維持しておりますが、農家戸数は、以前と変わらなく減つております。

これからの農業は、近代化農業による規模拡大が必要であり、又、協同作業が必要となつてきております。いわゆる、米中心の面積農業から、高度化された立体農業に変える必要があります。

司会 蔵王山をひかえ、新幹線新白石駅建設や東北縦貫道路一部開通と条件のそろつた白石を観光面で、どのように開発したらよろしいか伺ひましょう。

農業は、農業して生活出来る施策を講じていかなければならないと思ひます。

G 白石の農業は、地理的に地域的にバラエティにとんだ農業が出来ると思ひます。バラエティ農業のうちで、どの作目を選んで推進して行くかが、大きな問題と思ひますが、将来を見つめた農業のあり方の指導が大切と思ひます。

G 宝の山蔵王を、如何に開発するかが、観光都市として生きる白石の大きな課題であると思ひます。

私達の知らないうちに、中央の大資本によって、開発が進められておるようですが、それでよいものでしょうか。市や市民が参加して開発してこそ意義があると思ひます。

教育と、他の町村から見ると教育施設が充実しており、教育環境に恵まれておりますね。

最近、大学が欲しいという声を聞きますが、女子短大程度ぐらいの大学が是非欲しいと思ひます。

F 暖か味のある教育として発展しました白石の、もう一つの特徴は、子どもの健康第一を考えた教育が行なわれているということです。

先日行なわれた市制施行記念第四十五回市民体育大会を実施した体育のまちが作りだした教育であると思ひます。又学校施設に対する父母の経費負担の軽減を実施しており、改めて市に感謝すると共に、より一層学校教育に、力を注ぐようお願いいたします。



司会 教育関係について、昔と現在についての話を伺ひましょう。

五人の職員がリヤカー三台で処理していたものが、現在は十七人の職員がごみ集収車五台で集めておるようです。

C 最近ごみ焼却場を見学しましたが、次々と来る集収車が焼却炉に投棄する、ごみの量は大変なものですね。

D 生活様式の変化によって、長州風呂で燃える物は燃やし、燃えない物は穴を掘って、うめましたが、今は穴の掘る場所がなくなりしました。(笑)

C 総じて、白石の川は、きれいですよ。他市町の川は、メタンガスが出て、悪臭がひどいです。まだまだ白石の川は、魚の住める清流そのものです。

F 制度と共に教育面は、進歩を見ておりますが、市独自で変つた面を申しますと、特殊教育の推進、言葉の教室を設けたり、カギツ子教室を開設しまし

た。又、白中に実務学級が出来たのが、県下で初めてであり、県内の特殊教育をリードしております。

市民が大変暖か味のある人達であるという事のあらわれだと思ひます。

D 教育面では、仙南地方の中心になっているようです。

白石工業高校を設置したことは、成功したと思ひます。又、県立高校の校舎施設等についても、地元出身の県議会議員の方々の努力によって、県内では一番早く、整備拡充しております。

G 白石は幼児教育においては、保育園五つ、幼稚園公私立で三つあり、初等中等高等学校

司会 商工業についてどのような政策を講じたらよろしいでしょうか。

A 難しい問題ですね。工場誘致がなされておりますが、労働

飲むとは思ひませんでした。

私達は今日の様を見通しを出来なかつたのに、あえて実施した市に改めて敬意を表するともに、今日の発展があるものと思ひます。

C 住宅建設は、他市町に先がけて建設しており、又道路の舗装率は、県下第一です。

D 道路舗装で白石が最初に実施したのが、天神横丁で、次に沢端川虎屋前です。工事そのものにも大変な苦勞があつたようです。

B 当時は舗装技術は進歩していなかつたようですね。今では裏町の小路まで、完全舗装になり、他町村の人は驚いておりますね。

B 話が変りますが、水の都白石といわれている川がどうして汚れるのか不思議ですね。上流には、川を汚す工場もないし、人口も増えているわけでもないのに。

E 使い棄て時代の影響が、多分にあると思ひます。ごみが多くなつたためでしょう。

D 農業の使い方も、工夫しないで使つたことも、あるようです。

G ごみの量も、当時と比べ約三十倍になっております。

た。又、白中に実務学級が出来たのが、県下で初めてであり、県内の特殊教育をリードしております。

市民が大変暖か味のある人達であるという事のあらわれだと思ひます。

D 教育面では、仙南地方の中心になっているようです。

# 白石市の人口・世帯数及び国保加入者数の推移

凡例 

総数
国保加入者数

年度	世帯数										人口								
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5万人				
29	8,060					6,412								46,476					
30	8,027					6,718								46,170					
31	8,113					6,891								46,439					
32	8,179					5,918								46,670					
33	8,295					5,987								46,357					
34	8,415					6,014								46,348					
35	8,480					5,829								46,070					
36	8,588					5,819								45,668					
37	8,673					5,751								45,249					
38	8,840					5,668								44,554					
39	8,958					5,628								44,192					
40	9,016					5,577								43,536					
41	8,985					5,453								42,625					
42	9,000					5,578								42,142					
43	9,012					5,685								41,886					
44	9,439					5,695								41,040					
45	9,523					5,655								41,381					
46	9,661					5,696								41,287					
47	9,713					5,659								41,151					



駅前の上水道配水管工事

又、市民の憩いの場をつくる開発があっても良いのではないかと思います。

A 観光施設開発について中央の大資本に依存しておる現状であり、それに対抗する地元資本がない事がガンであるが、それで良いのか疑問であり、大きな問題ですね。

G 白石には、観光客を足止めする何物もない。エコーライの帰りとか汽車の待時間やお客さんを短時間で案内出来るような「ふる里館」「こけし館」などの施設を建設して、史跡とあわせ観光コースを作るといふのは如何でしょうか。是非欲しいですね。

B 明るく住み良い都市づくりを目標に進めていただきたい。

C 白石はこのままでも十分魅力あると思います。二十万都市を建設するよりも、人口は現在のままでも良いから水の都白石のイメージを破壊しない町づくりを進めてもらいたい。

E 発展には、いろいろとニエアンスが違いますが、住み良い、働き良い町づくりも発展であると思います。人口が増えたから大発展したとは思いません。市民が心から憩いの出来る町づくりに努めてもらいたい。

D 市が中心となり、早急に観光開発基本計画を作りなおす必要があると思う。

司会 いろいろと貴重な話をいただきましたが、この辺でしめくりをしたいと思えます。簡単に一言ずつお願いいたします。

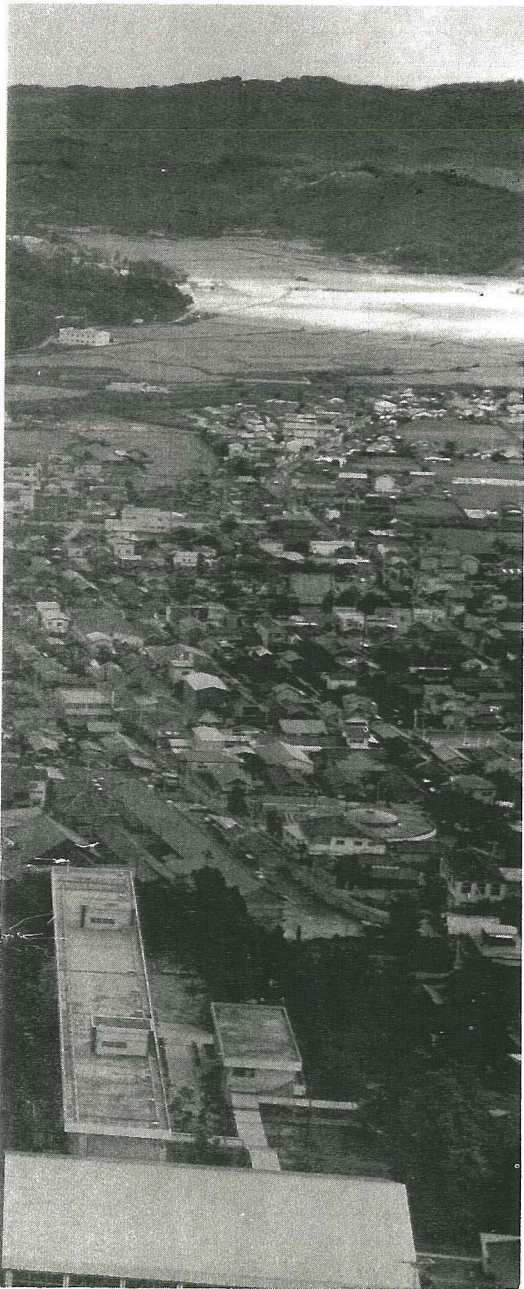
F 社会教育施設が不足しております。やがて来る週五日制に対処するためにも、市民の明るく住みよい施設の充実が必要だと思います。

例えば、市営の運動場を作り、広々とした所で親子共々スポーツを楽しめるような社会教育の充実発展を希望いたします。

司会 どうも貴重なご意見をいただきました。ありがとうございます。これを市政に反映すべく努力したいと思います。どうもありがとうございます。



寿山住宅団地



(県広報課提供)

